



# 1月 給食だより

令和8年1月8日  
荒川区立原中学校  
校長 村松 弘一  
栄養士 石井 康子  
城野 史奈

あけましておめでとうございます

冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。

風邪やインフルエンザも流行していますので、体調管理にはより一層気を付けて、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。



今年はうま年！



うまのように野菜をたっぷり食べよう！



箸をうまく使いこなしてきれいに食べよう！



よく味わってうま味を感じよう！



1/24～1/30は  
「全国学校給食週間」です

学校給食の始まりは明治22年（1889年）にさかのぼります。山形県の小学校で、貧しい子供たちへ食事を提供したのが始まりだといわれています。当時はおにぎりと焼き魚、漬物という簡素な給食でしたが、時代とともにバラエティー豊かな献立に変わっていきました。ですが、いつの時代も変わらずに、「子供たちが飢えることなく、美味しく食べて、健やかに成長できるように」といった願いが込められています。大人になっても、自分自身で考えて健康的な食生活を送ることができるよう、学校給食は「生きた教材」としての大変な役割を担っています。

学校では、昔懐かしのおにぎり、きな粉揚げパン、クジラの竜田揚げなどを提供する予定です。全国学校給食週間は、給食のルーツを生徒にも知ってもらえるいいきっかけになります。

## 12/8は有機農業の日でした！

12/8は有機農業の日ということで、給食でも有機野菜を使用しました。

有機野菜とは、農林水産省の「有機JAS規格」に基づき、化学肥料や農薬を使わずに、土づくりから生産管理まで厳しく管理された野菜のことです。

有機野菜を使うことは、環境負荷の低減や生態系を守ることにもつながります。また、実際に食べてみて感じたことですが、自然な力で作られた野菜はうまいがあり、違った味わいでした。

興味のある方はぜひ使用してみてください！

